

災害メモリアルアクションKOBЕ 2019 「阪神淡路大震災の教訓って？」第3弾

神戸学院大学 / 現代社会学部 / 社会防災学科 / 安富ゼミ



インタビュー

昨年度の活動では、地域によって震災への意識、教訓の違いがあるかについて調べるために街頭インタビューを実施しました。今年度は、「行政」「マスコミ」「研究者」などといった専門的な知識をもった方々にインタビューをさせていただき、昨年度とはまたちがった視点から震災の教訓について調べていきました。



インタビューにご協力いただいた方々、ありがとうございました！



インタビューは、学生が二人一組となって対象者にアポイントを取り、実施しました。インタビュー対象者の中には、今もなお防災の第一線で活躍されている方はもちろん、震災当時現場で活躍されていた方など、幅広い方々にご協力いただきました。期間は7月下旬から12月下旬の約五か月の間で、合計27人の方々にインタビューをさせていただきました。

新聞作成

今年度は、インタビューにとどまらず、「発信」にも力を入れ、神戸新聞社が提供するクラウド型アプリ「ことまど」を利用し、新聞を作成しました。昨年度では、阪神・淡路大震災の教訓は正しく継承されていないという結果にまとまったため、正しい伝え方を模索するの一つの手段として新聞を選びました。また、教訓のみについて書かれた新聞は珍しいと思います。新たな切り口で教訓を継承していきます。「ことまど」は、小学生が学校で新聞作成のために利用するアプリです。簡単に、本格的な新聞を作成することができます。新聞名は、「わせらん新聞」としました。「わせらん」とは、淡路島の方言で、「忘れない」を意味します。インタビュー得た教訓とは何かの答えを、全部で9枚の新聞にまとめることができました。



-----Member-----
教授 安富 信

3年 長井 裕貴 寺井 美紀 林 修功
東 萌菜美 森脇 稔喜 森 達也 巽 翔
岡崎 琳太郎 池内 麻菜美 池上ひなの
土居 大輝 寺尾 莉子 川口 祐生